

## 令和元年度第7回審査会での質問と回答（名古屋市南陽工場設備更新事業）

	質問、意見の概要		審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
1	振動	現況と供用時の騒音・振動を比較されていますが、収集車の台数は増えるのですか、減るのですか。	稼働中の工場の車両の影響は、現況に入っています。そこに、新施設の車両による影響が加わる形で予測しています。 なお、予測には、時間当たりで最大になる値として、準備書 245 頁に示す台数を用いています。	施設関連車両の供用時振動レベルは稼働中の収集車も含む現況値に供用時の収集車両の上乗せによる振動レベルの増加量を加え予測したものであり、収集車両台数の増減を考慮した予測ではありません。
2	振動	施設関連車両の交通量は、今と更新された時でどの位変わるのかという数字は、どこかにありましたか。	また、新施設の関連車両の台数は準備書 19 頁に出っていますが、現況の台数については、諮問時の審査会の事業者説明で、水曜日を除く月曜日から土曜日については現況の方が多という説明がありました。ピークで見ると、それほど変動していないのではないかと思いますが、事業者に確認します。	なお、不燃ごみ等が搬入される水曜日における供用時の収集車両の台数は、現況より増加しますが、可燃ごみ等が搬入される月曜日から土曜日（水曜日を除く）における供用時の収集車両の台数は、現況の約 7 割程度に減少すると想定しています。